

山形県農林水産部長

令和3年産さくらんぼ作柄調査 補完調査結果について

さくらんぼの作柄について、より精度の高い作柄情報を発信するため、「山形県さくらんぼ作柄調査委員会」（委員長：県農林水産部技術戦略監、委員：JA全農山形、農業共済組合、東北農政局山形県拠点等）において、作柄調査補完調査を実施しましたので、その結果について下記のとおりお知らせします。

記

1 調査の概要

着果・肥大状況：県内の主産地の15園地において調査（6月2日～7日）
（5月25日に実施した作柄調査の48園地から選定）

裂果の発生状況：主産地の農業技術普及課による確認調査（6月7日～8日）

出荷状況：主産地のJA等関係団体から聞き取り調査（6月7日～8日）

2 結果の概要

- 予想収穫量は作柄調査結果（5月27日発表：9,500トン）と同様の見込み
 - ・裂果の発生が一部地域で見られるものの作柄への影響は小さく、主力品種の「佐藤錦」の果実肥大が順調に進んでいることから、予想収穫量は当初の見込み通りである。
 - 収穫盛期は「佐藤錦」で6月20日～24日、「紅秀峰」で6月28日～7月1日の見込み
 - ・現時点での生育の進みは、平年より2～3日、前年より5日程度早い。
- ※アンダーラインは、作柄調査結果（5月27日発表）からの変更点

3 生育の概況

（1）着果と果実肥大の状況

- ・6月4日に降雨があり、露地栽培・雨よけ栽培における裂果が一部地域で見られるが、作柄への影響はほとんどないと見込まれる。
- ・5月25日の調査以降、果実の落果（生理落果）はほとんどみられていない。
- ・主力品種の「佐藤錦」では、5月の降雨が適度にあつたことに加え、全般に着果量が少ないことから、肥大は順調に進んでいる。

（2）収穫出荷の状況と今後の見込み

- ・現時点の生育は平年より2～3日、前年より5日程度早い。

■主力品種の出荷時期の見込み（「紅さやか」は実績）

品種名 (作型)	紅さやか		佐藤錦				紅秀峰	
	始期	盛期	(露地)		(雨よけ被覆)		始期	盛期
出荷時期	5/28頃	6/3 ～6/6	6/6頃	6/10 ～6/13	6/15頃	6/20 ～6/24	6/24頃	6/28 ～7/1

4 今後の対応等

- ・高品質な果実の出荷に向けた適切な着色管理や適期収穫の実施と果実品質を重視した厳選出荷の推進に向けた指導を徹底する。
- ・補完調査結果について、最新情報として消費地市場等へ提供する。

担当：山形県農林水産部園芸農業推進課
課長 佐藤 寧
電話：023-630-2264